

平成19年2月27日
第3回J-PARC作業部会
ご説明資料



SPring-8の利用料金の考え方

(財)高輝度光科学研究センター
専務理事 大野 英雄

利用制度

共用BL利用	一般利用 研究課題	成果 公開	一般課題	※
			長期利用課題	
			緊急課題	
			萌芽的研究 支援課題	
	成果 非公開	一般課題	480千円 / シフト※	
		時期指定課題	720千円 / シフト※	
重点研究課題 (平成15年度～)	成果 公開	領域指定型	※	
		利用者指定型		
		戦略型		
専用BL利用	成果公開		312千円 / シフト※	
	成果非公開			
理研独自研究(理研BL利用)				

※ 1シフト=8時間。また、別途消耗品実費負担を実施。

利用料金の考え方(成果非公開利用料)

※「大型放射光施設(SPring-8)の効果的な利用・運営のあり方について」(諮問第20号) に対する答申<H8.3.29 航空・電子等技術審議会>より

利用経費設定の考え方

SPring-8の利用経費の負担に関しては、利用者が成果を専有せず **公開するような利用研究** については利用者から **ビーム使用料を徴収しないことが適当** である。また、利用者が **成果を専有するような利用研究** については、**ビーム使用料を徴収すべき** であり、この場合、ビーム使用料の額の計算に当たっては、運営費回収方式により行うことが適当である。(続く)

専用ビームライン

加速器～蓄積リングの運転経費、SPring-8サイト運営経費の負担
時間単価: 39千円

専用ビームラインにおける
 成果非公開利用料金

39千円/時間
 ↓
312千円/シフト

共用ビームライン

+

共用BLで発生する経費の負担
時間単価: 21千円

共用ビームラインにおける
 成果非公開利用料金

60千円/時間
 ↓
480千円/シフト

- 対象費目**
- 固定資産税・火災保険料
 - 人件費
 - 光熱水料
 - 保守費
 - 警備費・清掃費等
- ※上記に係る一般管理費を含む。

- 対象費目**
 (共用BLに係るもののみ)
- 固定資産税・火災保険料
 - 人件費
 - 保守費
- ※上記に係る一般管理費を含む。

利用経費設定の考え方

※「大型放射光施設(SPring-8)の効果的な利用・運営のあり方について」(諮問第20号) に対する答申<H8.3.29 航空・電子等技術審議会>より

通信設備などの利用に係る実費については、成果の公開の有無に拘わらず徴収することはやむを得ないと考えられる。また、このような利用経費の負担については、いずれの場合も、利用者の所属機関が内外または産学官であるかを問わず、同一の基準が適用されるべきである。

財務省による予算執行調査時の改善点・検討の方向性

- 施設の現状に合わせて利用料金の見直しを図るべき。⇒06下期以降成果専有利用料を改定
- 利用拡大に留意しつつ成果公開ユーザーを含めた利用者全般に利用料を求める方向で検討すべき

<検討結果>

1. 消耗品の実費負担について

従来無料で提供してきた、利用実験において実験ハッチにて使用する消耗品について、共用ビームタイムを利用する**全ての利用者に実費負担**を求める。

(定額分: 10,300円/シフト + 従量分(寒剤ガス類、試薬パーツ類、文具記録用品等))

2. 成果公開・優先利用枠の利用制度の創設

科学研究費補助金等の大型研究費の獲得により一定の評価を経た課題について、**成果公開を前提とした優先利用枠**を創設。(優先利用料: 131,000円/シフト)

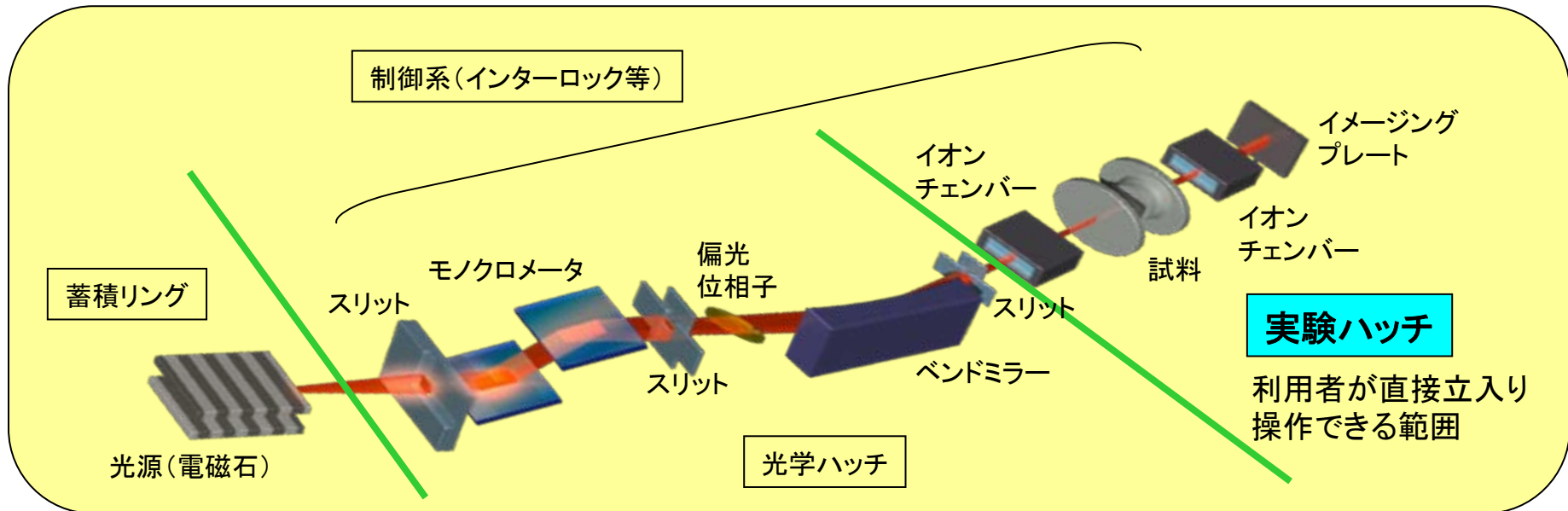
消耗品実費負担の範囲について

○ 負担の範囲

実験ハッチ内で使用される実験に伴う消耗品費を徴収する。損耗等に対する定額分と利用に応じて変化する従量分に分けて徴収。

○ 内訳

寒剤・ガス類に、試薬類及び計測関係の消耗品、試料調整やセンサー類等の検出系、データ記録等にかかる消耗品。



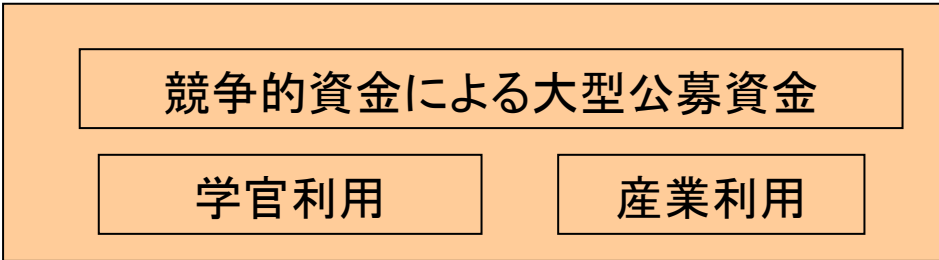
ビームラインの構成と実費負担の範囲

成果公開・優先利用制度の創設について

【JASRI諮問委員会の意見具申(平成16年8月20日)からの抜粋】
 SPring-8の利用が欠かせない研究で、大型研究費の獲得等により一定の評価を経た課題について、二重の課題審査を受ける非合理性・非統一性を避ける為、成果公開有料利用枠(使用料を設定し、簡単な審査で利用できる枠)を新設する。

⊗ 定義: 成果公開優先とは、一般課題枠に必要とするシフト枠が優先的に確保できること。

おおむね年間
1千万円以上
の大型研究
資金の獲得と
する。



↓
 公募課題審査会による審査

利用料: 13.1万円/シフト
 (ビームライン関係の保守費、人件費等を徴収)

↓
 JASRI利用業務部の受け付け(A期、B期の公募に先行)

一般枠では
実施が難しい
シフト数が大
きな課題から
優先して採用。

↓
 JASRIの安全審査と技術審査(実験の可能性、利用枠の大きさ等)

↓
 SPring-8成果公開・優先利用枠による時期・BL指定利用
 (一般課題枠内に5%(max))